令和二年　春彼岸法要　於　月洲寺

「智慧波羅密～幸せを願う祈り～出来る事を出来るだけ活かしていく～」

臨済宗　南禅寺派　月洲寺　河又宗道

①「お彼岸」は仏教強化週間です！

仏道修行は日常生活と密接しています。違いは「誰かの為を思う、幸せを願う誓いを持つ事」

②六波羅蜜、六つの智慧

　布施…何かを施し、分け与える事

　持戒…決まりを持って自己を見つめ反省する、良き習慣を持つ事

　忍辱…辱めを耐え忍ぶ事

　精進…時間を大切にして一所懸命に物事を進める事

　禅定…呼吸、身体、心を調え、自分を見つめる事

　智慧…いのちを上手に働かせていく事

「智慧波羅密」…「出来る事を出来るだけ、活かしていく事」

③般若の智慧…とらわれない、かたよらない、こだわらない、広大なる心、幸せを願う祈りの力

★ブッダパワーの謎に迫る。　ブッダパワー！=祈りの言葉

「応無所住而生其心」金剛経より「応に住まる所無くして其の心を生ず」

何者にも執われることないその心が「般若の智慧」=「智慧波羅密」

自分も他も、幸せを願うこころを生む。

④祈りとは？鎌倉、円覚寺派管長猊下、横田南嶺老師の若い僧侶より受けた質問

　「祈りとは？祈ってどうなるのか？」

「祈ることしかできないけれども、祈らずにはいられない」

　ただひたすらに祈ってもらえると、人は安心する事がある。

⑤幸せを願うとは？

　生きている実感を持って生きていく。

　「私の四弘誓願文」　臨黄ねっと　兵庫　宝林寺　西村古珠師

「衆生は限りなけれども　誓ってみちびかんことを願う

煩悩は尽くることなけれども　誓って絶ちきらんことを願う

法門は無量なれども　誓って学ばんことを願う

仏道は極め難けれども　誓って成しとげんことを願う」

　「いろんなひとがいるけれども　今日一日　やさしい心でいよう

いろんなことがあるけれども　今日一日　あかるい心でいよう

この道は遠いけれども　今日一日　一歩すすもう

何があっても大丈夫　今日一日　笑顔でいよう」

ただひたすらに故人の冥福、幸せを願う、祈る檀家さんの姿に感動したお話。

まとめ

幸せを願う祈り、御先祖様から受けていて、御先祖様へと回し向ける祈りの力。

　一日、一日、自分も、周りも、出来る範囲で出来るだけ、幸せ願い生きていく。

　幸せに生きると言う事は自分が生きている実感を持つ事。

　全ての人が誰にもとらわれない、かたよらない、こだわらない、広大なる心を持っている事。

　喜びも、悲しみも、怒りも楽しみも、苦しみも迷いも、生きているからこそ。

　自分の身体、呼吸、こころを調え、周りの、誰かの幸せを願う祈りを一日一度でも持てると

　自分の幸せ、生きている実感に気付きやすくなる。